

「避難」とは「難」を「避」けることです。

## 災害時にあなたがとるべき避難行動は？

**スタート**

家がある場所に色が塗られている？ **いいえ**  
 はい 災害の危険があります。原則自宅の外に避難が必要です。

色塗られていなくても、周りと比べて低い土地や崖のそばなどにお住まいの方は、市からの避難情報を参考に、必要に応じて避難してください。

事前に親戚や知人に相談しておきましょう！

ご自身または一緒に避難する方は避難に時間がかかる？ **いいえ**

安全な場所に住んでいて身を寄せられる親戚や知人はいる？ **はい** **いいえ**

安全な場所に住んでいて身を寄せられる親戚や知人はいる？ **はい** **いいえ**

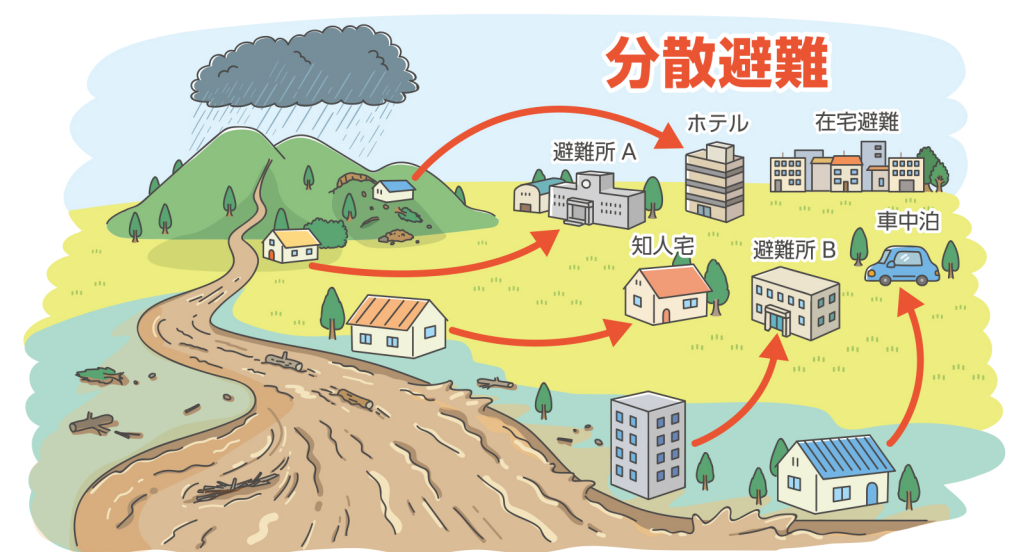
**警戒レベル3** が出たら 安全な親戚や知人宅に避難

**警戒レベル3** が出たら 市の指定緊急避難場所に避難

**警戒レベル4** が出たら 安全な親戚や知人宅に避難

**警戒レベル4** が出たら 市の指定緊急避難場所に避難

いずれの場合も普段から安全な避難経路を確認しておきましょう。



災害の危険が迫っている場合、安全な場所へ早めに避難するために重要なのが、「分散避難」です。

災害のおそれがあるときに、「避難所」に多くの方が密集すると、感染症が広がるリスクがあります。

「避難所」以外にも、「親戚・知人宅」「ホテル」「在宅避難」「車中泊」などさまざまな避難先に分散して避難することが大切です。

- 親戚や知人宅など** 避難所の密集度を分散させるため、安全な場所にある親戚や知人宅、ホテルなどに避難することも考えてください。
- 在宅避難** 浸水や洪水、土砂崩れの被害が及ばない、頑丈な建物の高い階に住んでいる人は、自宅にとどまって避難生活する「在宅避難」も考えてください。
- 車中泊** 危険な場所でなければ、一時的に車の中で過ごす「車中泊」も考えられます。車中泊の場合は定期的な運動や空気の入れ替え、適度な水分補給などエコノミークラス症候群の予防を心がけてください。  
分散避難ができないときはためらわず避難所に移動してください。

## 家の避難行動予定表

**自宅の危険度** ハザードマップで調べた結果を記入しておきましょう。

ハザードマップに着色	土砂災害警戒区域	洪水浸水想定	近くの避難場所は
有 無	内 外	m~ m	です。

ハザードマップは本書のP17~

警戒レベル	避難情報	警戒レベルごとにその時自分が何をすべきか考えて記入しましょう。	
5	緊急安全確保	例えば ・命の危険 直ちに安全確保	記入欄
4	避難指示	・全員避難	
3	高齢者等避難	・高齢者等は避難開始	
2	大雨注意報 洪水注意報	・住んでいるところと上流の雨の量を調べ始める ・川の水位を調べ始める ・避難しやすい服装に着替える	
1	早期注意情報	・台風の今後を調べ始める ・避難するときに持っていくものを準備する	

**行動集(例)**

- ・避難開始 避難にかかる時間 (分) ↑
- ・避難準備開始 準備にかかる時間 (分) ↑
- ・持出品の ( ) を確認
- ・( ) に連絡
- ・ガソリンを入れる
- ・携帯を充電

① 安全な場所にいる人は避難場所に行く必要はありません。 ② 危険な状況になる前に安全な場所へ移動してください。

## 災害情報の伝達ルート

※情報がなくても、危険を感じたときには、すみやかに避難しましょう。

● 気象等の異常に対して、下図の伝達ルートで皆さんへお知らせします。

